

「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」推進中！（平成20年度報告）

平成20年度から実施している「名古屋市シルバーパワーを活用した地域力再生事業」（以下、「シルバーパワー事業」）は、団塊の世代をはじめとするシルバー世代の方が、地域でボランティア活動等に参加することで、その地域の課題（個人のちょっとした困りごと等）を解決することを目指しています。その取り組み状況を報告します。

市内4区8学区で取り組んでいます！

シルバーパワー事業は、平成20年度から以下の4区8小学校区（以下「学区」）でモデル的に実施されています。

区	学区		区	学区	
東区	山吹	明倫	南区	明治	道德
港区	大手	西福田	天白区	表山	高坂

みんなでボランティア活動に参加しよう！

★ボランティアポイント制度

団塊の世代等シルバー世代が地域活動に参加するきっかけとするため、平成20年10月からボランティアポイント制度を開始しました。

50歳以上のボランティア活動希望者には、モデル4区社会福祉協議会でボランティアカードが発行され、ポイント対象事業で活動すると、ポイントがもらえます。

<平成20年度実績（8学区合計）>

項目	8学区合計
認定事業数	87事業
カード配布人数	674人
カード配布枚数	871枚
ポイント付与数	12,980ポイント
活動延人数	5,123人



ポイントをためて、ボランティア団体等に寄付しよう！

カードを持つ方が15ポイント（平成20年度）を貯めたら、あらかじめ登録された還元対象団体（118団体：平成20年度）から還元先を選びます。平成20年度は、1ポイント＝10円で算出し、10団体に総額94,650円が寄付されました。ボランティア活動をすること、ポイントをためて寄付をすること。2度の貢献ができるのがこのボランティアポイント制度のウリです。

<平成20年度還元先実績>

No.	還元団体名	申請数	還元金額
1	山吹ワーキングセンター	49人	23,700円
2	表山学区地域福祉推進協議会	21人	4,650円
3	高坂学区地域福祉推進協議会	39人	21,000円
4	山吹学区福祉推進協議会	4人	1,350円
5	明倫学区福祉推進協議会	31人	13,050円
6	大手学区地域福祉推進協議会	8人	1,350円
7	西福田学区地域福祉推進協議会	10人	1,950円
8	大手いきいき健康ひろば	15人	4,200円
9	道德学区地域福祉推進協議会	42人	10,500円
10	明治学区地域福祉推進協議会	53人	12,900円

※還元金は、各団体の運営費・事業費として活用されます。

本年度も還元団体を募集していますので、下記連絡先にご連絡ください。



夜回り活動（東区山吹学区）



ふれあいネットワーク活動研修会（南区明治学区）

本事業のお問い合わせ先

名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部
TEL (052) 911-3193 FAX (052) 917-0702
http://www.nagoya-shakyo.jp/s_p.htm

地域の課題発見、解決への道を住民自身が作っていく“場”づくり！

★シルバーパワー活用連絡会議

地域福祉推進協議会をはじめとする地縁（エリア）団体とボランティア・NPO法人の機能（テーマ）団体の協議の場として、モデル学区内に「シルバーパワー活用連絡会議」が設置されました。

<活用連絡会議の役割>

- ・ポイント付与対象事業（活動）の認定
- ・学区の課題把握・個別支援事業の検討

<平成20年度実績（8学区合計）>

項目	8学区合計
開催回数	35回
構成員	86名

ボランティア・NPOを学び、課題解決へのヒントを探る！

★協働・ネットワーク研修

地縁（エリア）団体と機能（テーマ）団体をはじめとする関係者の相互理解を目的とした「協働・ネットワーク研修」を開催し、両者の関係づくりのために、課題解決のヒントを学びました。

<平成20年度実績（8学区合計）> ※開催回数のうち、2学区合同開催が6回

項目	8学区合計
開催回数	12回
構成員	86名



協働ネットワーク研修（港区）

住民自身が地域の課題解決に取り組んでいます！

★個別支援事業（地域支えあい活動）

各学区の活用連絡会議では、その地域の課題（個人のちょっとした困りごと等）の把握に努めました。その地域の課題に対応し、解決することを目的とした「個別支援事業」を新たに立ち上げたり、既に取り組んでいる活動を拡充しています。その活動の一つである、天白区表山学区の「お助けマン制度」をご紹介します。

天白区表山学区の「お助けマン制度」とは？～“共助”の活動～

地域の支えあい活動を広めるために、平成21年6月16日「地域支えあい活動推進フォーラム」を開催しました。そこで発表いただいた表山学区の「お助けマン制度」をご紹介します。

「お助けマン制度」は、学区内の高齢者や障がいのある方の困りごと解決の活動で、学区住民10名以上のボランティアが登録し、例えば、粗大ごみ等の搬出、植木の剪定、外出支援などの活動を行いました。活動のためには、困ったという方の発掘（制度を住民へPR）、ボランティアの登録、活動の調整などが必要となります。

シルバーパワー事業の開始をきっかけにこの制度は始まり、表山学区で広がってきています。



表山学区シルバーパワー活用連絡会議
会長 水谷勝彦氏

シルバーパワー事業は、地域住民とともに、区社会福祉協議会コミュニティワーカー（専門性を持つ職員）と地域福祉活動推進員（＝学区住民の中から選定）が支援し、今後、地域に根付き、ますます支えあいの輪が広がっていくことが期待されています。